

# 議会だより

No 179

令和6年  
4月30日発行



長柄幼稚園入園式

## 令和6年 3月定例会

令和6年度 予算可決（一般会計・各特別会計）

■ 可決された議案	3～4
■ 提出議案と議員の賛否	6
■ 一般質問	7～16

### 一般質問 10人の議員が町の考えを問う

- ・蟹和 孝一議員
- ・佐藤 富代議員
- ・原 義裕議員
- ・山本 裕子議員
- ・新村 貴紀議員
- ・松村 潤議員
- ・松島 茂喜議員
- ・神山 均議員
- ・小久保隆光議員
- ・武井 清二議員

YouTubeにて邑楽町議会  
チャンネルを開設しました  
本会議の様子をご覧いただけます



# 令和6年度一般会計予算

104億円の予算を可決  
対前年度比10.1%増

3月定例会

令和6年第1回定例会が、3月5日から15日まで開かれました。令和6年度の一般会計予算や各特別会計予算等の議案が提出され、審議の結果原案のとおり可決されました。

令和6年度  
注目の事業

町民の健康づくり × コハクパイ =  
地域をもっと元気にする

## おうらてくてくアプリ



健康づくり課(保健センター)では、アプリの登録方法や使い方、機能の説明を行うなどサポートしている



定期的にイベントを開催してアプリを普及している



おうらてくてくアプリは、毎日の健康づくりを意識するために導入されたアプリです。「歩くこと」を中心にポイントを受け取ることができます。日々の体調管理もできるので、私もアプリをインストールして健康づくりを意識しています。毎日の積み重ねは大事ですね。



「広報おうら」や「おうらてくてくアプリガイドブック」を作成して町民に広くお知らせしている

令和6年度予算の予算規模は、一般会計で104億円、前年度に比べ9億5千万円、10・1%の増額となりました。

歳入では、国の定額減税に伴い町税収入見込額は38億5837万8千円で、前年度に比べ8768万円の減額となりました。

国による地方財源の保障制度である地方交付税は、決算額を元に推計し前年度と比べ7500万円、5・7%減の12億4500万円を見込みました。

繰入金については、財政調整基金、減債基金、公共施設等整備基金、ふるさと振興基金、森林環境譲与税基金からの繰入を行い、合わせて10億2160万円の繰入を計上しました。前年度と比べ3億5060万円の増額です。地方譲与税、法人事業税交付金、地方特例交付金、国庫支出金等が増加していますが、地方消費税交付金、使用料及び手数料等が減少する中で、財

源確保の観点から、前年度に引き続き財政調整基金繰入金を計上しました。

町債は、前年度と同じく、交付税の増額による臨時財政対策債は大幅に減少していますが、公共施設等の長寿命化やインフラ整備などの投資を積極的に行い、前年度と比べ3億3390万円、83・8%増の7億3250万円です。

次に、歳出の大きく増額とされたものとして、介護給付・訓練等給付事業へ4億7652万3千円、コハクペイ事業に3億3398万5千円、町営住宅建設事業に6億8402万3千円、町道整備事業に2億1031万3千円を計上しました。公債費では、長期債元金に7億4479万4千円、長期債利子に2283万6千円を計上しました。

コロナ禍で、今まで当たり前であった生活が制約される状況を経験し、今後はスピード感と柔軟性のある施策が必要です。物価高騰

対策や行政事務のデジタル化などの新たな生活様式への対応が求められており、町民のニーズを的確に判断し、実施していくことが重要になります。国の国債依存度は限界を超えたと言われている状況は変わらず、地方への財政措置がこれま

ではないと言わざるを得ません。今後も、より一層の効率的な行政運営と住民サービスの向上を目指し、危機管理体制の強化、健康づくりに、計画的な財政運営を行ってまいります。

まちづくりは行政のトップたる町長がその舵取りと責任を負いますが、一人で行うものではありません。多くの町民、事業者、議員、職員、すべての町に係わる人々と進めていかなければなりません。新しい考え方をしっかりと取り入れ、将来に向かって夢と希望のあふれるまちづくりを皆さまと進めてまいります。  
(町長の施政方針抜粋)

## 可決された議案

### 【人事案件】

#### 人権擁護委員の推薦

人権擁護委員の推薦について同意しました。

猿橋八重子さん(狸塚)

#### 副町長の選任

副町長の選任について同意しました。

関口春彦さん(藤川)

#### 教育委員会教育長の任命

教育委員会教育長の任命について同意しました。

小林淳一さん(篠塚)

#### 教育委員会委員の任命

教育委員会委員の任命について同意しました。

谷津洋子さん(中野)

【専決処分の承認】  
令和5年度邑楽町一般会計補正予算(第7号)

物価高騰対応給付金事業を実施するための経費が必要となり、専決処分された補正予算について、承認しました。

### 【計画の策定】

邑楽町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画

高齢者施策に関する目標を設定し、その実現に向け取り組むための第9期邑楽町高齢者保健福祉計画と、介護保険料基準額の算出を行い、第9期介護保険料を設定するための介護保険事業計画が議決されました。

### 【条例改正等】

群馬県市町村公平委員会の規約変更に関する協議について

令和6年4月1日から富岡市及び榛東村が新たに加入すること、また負担金の算出方法を改正することに伴い、組織規約変更の協議をしました。



邑楽町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

個人番号の利用範囲に福祉医療費の支給に関する事務を加えるため、条例の一部を改正しました。

邑楽町特別職の報酬、費用弁償条例の一部を改正する条例

おうらブランド認証制度の新設に伴い、その審査を行う委員に対し報酬を支給するため、条例の一部を改正しました。

邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

支給対象者の規定の整理を行うため、条例の一部を改正しました。

邑楽町介護保険条例の一部を改正する条例

第9期邑楽町高齢者保健

福祉計画・介護保険事業計画期間における第1号被保険者の介護保険料について、所得段階を見直すとともに、基準料率を変更するため、条例の一部を改正しました。

邑楽町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

邑楽町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例

邑楽町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

邑楽町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービス

に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令」の公布に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町中小企業振興資金融資促進条例の一部を改正する条例

「中小企業信用保険法及び株式会社商工組合中央金庫法の一部を改正する法律」の施行に伴い、条例の一部を改正しました。

邑楽町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例

「群馬県小口資金融資促進制度要綱」の改正に伴い、条例の一部を改正しました。

【選挙】

選挙管理委員・補充員の選挙

選挙管理委員と補充員が選出されました。

選挙管理委員

- 栗原實さん（狸塚）
- 山口和己さん（石打）
- 板橋俊春さん（赤堀）
- 高橋敏子さん（中野）

補充員

- 小川兼彦さん（篠塚）
- 寺崎利治さん（藤川）
- 森戸久子さん（鶉）
- 春日昇さん（鶉新田）

請願・陳情

継続審査となっていた請願が審査され、結果次のおりになりました。

「不採択となった請願」

「物価上昇に見合う年金の改善を求める意見書」を国に送付することを求める請願

請願者

- 館林市木戸町 全日本年金者組合館林邑楽支部
- 支部長 山中一夫

新年度予算質疑(要旨)

新年度予算についての質疑が行われました。以下、抽出した項目の要旨です。

Q 瀬山登議員 広域公共バス車両購入費補助金300万円は、どのように設定されているか。

A 企画課長 町内を循環している路線バスの車両が故障したため、運行契約書に基づいて運業者が購入した費用に対して3分の2を補助する形で予算計上した。

Q 塩井早苗議員 病児・病後児保育事業を拡大していくために小児科医との連携を進める気はあるか。慣れたそれぞれの園で病気が治り際の子の保育は可能か。

A 町長 現実的には人材の確保、人件費、財源の確保など重い課題がある。対応が可能かどうか協議していく。

**Q 武井清二議員** 前回の決算質疑で提案した「おうらお知らせメール」のLINE版だが、その計画や内容は。

**A 企画課長** 今回予算計上はされており、各課から意見を聴取した上で、町の暮らし、子育て、防災、観光などを中心に盛り込んでいきたい。

**Q 松島茂喜議員** 子育て支援事業計画策定業務委託料546万7千円だが、経費削減も含め、職員が手作りで策定するメリットもあるのではないか。

**A 町長** 全体的に加味して精査しながら、今後の計画づくりに係る委託などについては、提案していきたい。

**Q 佐藤富代議員** 保育士等派遣業務委託料の増額理由は。

**A 町長** 正規職員の不足に対し、会計年度任用職員を募集しても集まらない状況である。やむなく派遣保育

士に委託しているが、地元の人であれば保護者も安心感が持てるので、職員採用については担当課と協議する。

**Q 神山均議員** 令和6年度の新型コロナワクチン接種費用の自己負担軽減策等の国の方針や町の考え方は。

**A 副町長** 国では令和6年3月末をもって、無料接種は終了。4月以降の接種費用の助成は、明確に示されていない。町は近隣市町等と足並みを揃えて対応したい。

**Q 松村潤議員** 国は「学校図書館図書標準」で学級数に応じた蔵書数を定めているが、その基準の達成は。

**A 学校教育課長** すべての小中学校で、標準蔵書冊数をクリアしている。充足の割合は平均で、小学校で143%、中学校では120・8%である。

令和5年度補正予算額（3月）

会計別	予算現額	補正額	予算総額
一般会計	107億7,262万円	5億4,672万円	113億1,934万円
国民健康保険特別会計	29億4,007万円	△405万円	29億3,602万円
後期高齢者医療特別会計	4億376万円	△110万円	4億266万円
介護保険特別会計	23億2,631万円	△729万円	23億1,902万円
下水道事業特別会計	4億3,690万円	730万円	4億4,420万円

令和6年度当初予算額

会計別	本年度予算額	前年度当初予算額	対前年度増減率
一般会計	104億円	94億5,000万円	10.1%増
国民健康保険特別会計	26億1,157万円	27億1,043万円	3.6%減
後期高齢者医療特別会計	4億5,855万円	3億9,794万円	15.2%増
介護保険特別会計	21億1,134万円	20億8,305万円	1.4%増
公共下水道事業会計	収益的収入	3億6,934万円	—
	収益的支出	3億2,751万円	—
	資本的収入	2億8,780万円	—
	資本的支出	3億4,904万円	—



令和6年第1回邑楽町議会 定例会 提出議案と議員の賛否

議案等	議席番号														結果
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
	山本裕子	三ツ村由紀	武井清二	新村貴紀	神山均	蟹和孝一	佐藤富代	小久保隆光	黒田重利	瀬山登	松島茂喜	塩井早苗	原義裕	松村潤	
諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(猿橋八重子さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
同意第1号 副町長の選任につき同意を求めることについて(関口春彦さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
同意第2号 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて(小林淳一さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
同意第3号 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて(谷津洋子さん)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	同意
承認第1号 専決処分の承認を求めることについて(令和5年度邑楽町一般会計補正予算 第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	承認
議案第1号 群馬県市町村公平委員会の規約変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第2号 邑楽町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第3号 邑楽町特別職の報酬、費用弁償条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第4号 邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第5号 邑楽町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第6号 邑楽町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	○	○	可決
議案第7号 邑楽町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	○	○	可決
議案第8号 邑楽町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	○	○	可決
議案第9号 邑楽町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	×	○	○	可決
議案第10号 邑楽町中小企業振興資金融資促進条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第11号 邑楽町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第12号 邑楽町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第13号 令和5年度邑楽町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第14号 令和5年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第15号 令和5年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第16号 令和5年度邑楽町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第17号 令和5年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第18号 令和6年度邑楽町一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第19号 令和6年度邑楽町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第20号 令和6年度邑楽町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第21号 令和6年度邑楽町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
議案第22号 令和6年度邑楽町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	可決
請願第1号 「物価上昇に見合う年金の改善を求める意見書」を国に送付することを求める請願	×	×	×	○	×	×	×	×	議	×	×	○	×	×	不採択

※ ○…賛成 ×…反対 欠…欠席  
議…議長(議事進行を行う議長は採決に加わりません。賛否同数の場合のみ議長裁決として賛否を表明します)

# 一般質問



蟹和 孝一  
議員

## 大規模災害の 備えと対応策について

**問** 大規模災害に対する町長の見識を伺う。

**答** 町長 町においても、さまざまな自然災害のリスクがあるが、やはり地震による被害が考えられる。町での被害想定は6強程度の地震が想定をされる。町は統計上は極めて災害の少ない所ではあるが、決して自然災害がないわけではない。そのためにも、これからも町は常に広報紙やホームページを通じて災害のリスクを発信していく。基本的には各家庭における備え「自助」これが基本になるため、再度見直す契機にしていただきたいと考えている。

**問** 町における防災に対する備えの状況を聞きたい。

**答** 総務課長 災害から住民の生命、くらし、財産を守ることは町に課せられた使命であると考え。それと同時に、自ら自分を守ることが防災の基本である。町では被災者の生活を維持するために必要な災害備蓄品などを調達、確保し、需要に応じて供給配分する必要があると考えている。今後も充分な量の確保に努めていく。

**問** 災害時の学校の対応について伺う。

**答** 学校教育課長 学校での地震に関する避難訓練では、地震後の火災の発

生を想定し、小学校では児童を保護者へ引き渡すことも想定している。避難時のスローガンとして「押さな

い」「走らない」「しゃべらない」「戻らない」を念頭に行動を促す。また、登下校中に地震が発生した時の対応についても学んでいる。訓練後には反省点をまとめ、今年度の取り組みとして、小中学校と幼稚園、保育園、こども園の避難訓練の実施状況をデータ化し、学校間で共有できる体制を整えた。

**問** 災害時の司令塔について伺う。

**答** 総務課長 災害、事故が発生し、また発生する恐れがあると認められる

時、災害警戒本部の設置、初動の体制に万全を期することになっていく。町長がリーダーとなる。その重要な役割は、決断、決心をすることにある。それに伴う結果に対して全責任を負うことになる。また、総務課長などの係においては、常にトップの立場、町長の立場に立つて適切な補佐をすることが必要になる。

**問** 災害に対する町民への周知について伺う。

**答** 町長 特に町民への周知であるが、情報発信の手段については、広報紙や、ホームページが主なものになっている。こういった災害については、各家庭や自治会などさまざまな所への呼びかけを、よりいっそう進めていく必要がある。



被災地への災害派遣



新村 貴紀  
議員

## 飼い主のいない猫等の 保護、対応について

**問** 飼い主のいない猫等の保護対応について伺う。

ペットブームの中、動物をペットとして飼う人々が町でも増えている。その中で、事情により飼えなくなった動物を公園等に放置するなどが発生している。放置された動物に罪はなく、これらの動物を保護するため、地域で保護活動が行われている。町でも保護活動を行っている団体があり、話を聞くと放置された猫の不妊手術、保護、譲渡会などを行っている。不妊手術は費用がかかり、運営に関しても資金調達が難しい。大泉町では、動物基金で行政区登録を行っており、その基金の費用で不妊治療を行っている。条件はあるが、町

の費用はほぼかからない。邑楽町としてその行政区に登録できないか。

**答** 建設環境課長 現在、町が行っている対応としては、相談などを受けた場合に、群馬県動物愛護センターへの取り次ぎである。

「さくらねこ無料不妊手術事業」という事業があるようだが、大泉町は取り組んでいるが、現在邑楽町は参加していない。今後はこのような事業についても、住民にとつての広域性の高さなどを検証し、取り決めについて検討する。

**問** 他の市町村と同じように町独自の対応がでないか。条例とかそういう形であると思うが、今後の

検討を提案する。

**答** 建設環境課長 全国的にも普及している

「さくらねこ不妊手術事業」についての取り組みについて、前向きに考えていきたい。

**問** 町でもいろいろなイベントを実施している。

そういうイベントの中でブースを設置し、動物愛護活動や今の状況について町民に周知する機会を作ることには必要ではないか。

**答** 建設環境課長 動物の保護活動を行う団体が

自身の事業に対してイベントなどで啓発活動を実施する場合には、その活動が積極的に見えるように町として支援や協力をしていく。

**問** 町として動物愛護活動を行うべき時期ではないか。また、民間のボランティア団体に任せっきりでなく、愛護活動を考えていくべき時期だと思う。

動物愛護に力を入れて  
取り組むべき

**答** 町長 町としても独自にこの動物愛護に力を

入れて取り組むべきであり、動物基金事業に参加をしていきたいと考えている。少しでも住民の住環境の向上を図るとともに不幸な動物の発生の抑制を図っていきたい。

### その他の一般質問

- ・太陽光発電施設のFIT
- ・資源ごみの区分けについて



飼い主のいない猫



# 一般質問



神山 均  
議員

## 教育・子育て支援 について

**問** 町教育委員会の教育研究所の設置目的や活動内容を伺いたい。

**答** 学校教育課長 教育研究所は、教育に関する研究調査及び教育関係職員の研究を行うことを目的としている。活動内容は、運営事業、教育研究、教育相談の3点が柱となる。運営事業では、群馬県教育研究所連盟が主催する研修会への参加、研修報告等の資料収集が中心である。教育研究では、班別研修や研究班の研究報告会、教職員研修会の開催を中心に活動している。教育相談では、教育相談室及び適応指導教室、ふれあい教室の運営や教育相談に係る研修会等を開催している。

**問** 放課後等デイサービス事業や放課後健全育成事業における行政との連携等の現状は。

**答** 福祉介護課長 現在町内にある放課後等デイサービス事業所は、2法人が運営する4事業所である。町との意見交換会の場合は、令和4年度より事業所の要望により年に1回ほど開催している。参加者は、各事業所の関係者と町の福祉介護課長、障害福祉係長の2名である。個別の相談などは、その都度電話や窓口で直接対応している。

庭にいない場合は授業の終了後、児童厚生施設等の施設を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業である。児童保育所と町とで意見交換できる場として、定期的に現地に赴いて実施する実地監査のほか、町の子ども・子育て会議時にご意見をいただいている。

**問** 夏場の日中の屋外でのスポーツ大会に対する開催時期の変更などの意見要望等は届いているか。

**答** 生涯学習課長 町内対抗野球大会に関してかと思われるが、この行事はこれまで当事者である各行政区の支部からは具体的な開催時期の変更の要望は出

ていない。しかしながら、近年の、特に夏場の気温上昇は人体に危険を及ぼすレベルに達しており、担当課としても危機感を持っている。今後も選手をはじめ、大会役員や選手を支える行政区の人たちの健康管理を最優先し、開催時期を含めた大会の運営内容について引き続き体育協会と協議していきたい。

**問** 公立館林厚生病院の産科再開に向けて、構成市町でさらに後押しをしてほしい。

**答** 健康づくり課長 公立館林厚生病院は、医療企業団として、館林市邑楽郡1市5町が構成団体となっている。産科の運営再開には医師の確保などさまざまな大きな課題があるが、今後協議しながら対応を図っていききたい。

**その他の一般質問**  
・ 交通・防災について



町内対抗野球大会



公立館林厚生病院



佐藤 富代  
議員

聴覚障害があっても  
暮らしやすい町

十二分に利用してほしい。近隣の自治体や先進の事例を調査研究し、より良い環境が構築できるような努めたい。

する助成について、新しい制度として提案できるように前向きに検討したい。さらに職員の手話奉仕員養成講座の公費負担も検討したい。

**問** 邑楽町障がい者福祉計画では、障害者手帳を持つた人の悩みや困りごとの相談先は、家族や親戚など身近な人が多く、行政相談窓口は少なかつた。相談窓口の利用状況は。

**答** 福祉介護課長 相談件数の把握はしていないが、相談から福祉サービスにつながった件数は、令和2年度295件、令和3年度311件、令和4年度348件、令和5年度2月末で386件、令和2年度と比較した伸び率は130・8%である。障害児福祉サービスの件数は、令和2年度96件、令和3年度124件、令和4年度152件、令和5年度2月末で194件、令和2

年度と比較した伸び率は202・0%である。

**問** 聴覚に障がいがある人への相談窓口での対応は。

**答** 福祉介護課長 筆談が主である。手話通訳を必要とする場合は、手話通訳者派遣サービスが利用できる。令和4年度64件、令和5年度は現在までに39件ある。利用日の3日前までに申請すると、登録手話通訳ボランティアが派遣される。費用は全額公費である。

**問** 手話奉仕員養成事業とは。

**答** 福祉介護課長 邑楽町、千代田町、大泉町の3町合同実施であり、今年度

は大泉町で開催する。定員は基礎コース、入門コース各30名、参加費は4千円である。町職員の参加も可能である。

**問** 相談の第一歩において、町の制度や事業に精通した職員が、手話を通して相談者に寄り添い対応できる。このことが悩みや困り事を的確に把握、適切な支援につながるかと考える。何時でも安心して相談できる相談窓口の整備は。

**答** 町長 手話が確実にでき、役場の業務に精通しているということは相談者の安心感、満足感を高める。しかし年間数十件の相談である。現実的には手話通訳者の派遣サービスを

**問** 聴覚や視覚に障がいがあっても参加でき、みんなが共に楽しめる企画は。

**答** 福祉介護課長 町政50周年記念式典や人権啓発講演会、町民文化講座などに手話通訳者を派遣している。今後は高齢者や外国籍の人が参加できるように企画したい。

**問** 高齢者の4人にひとり は難聴を感じていると言われる。補聴器等の購入費の補助について伺う。

**答** 町長 難聴は他の疾病への関連も指摘され、予防保全型の措置が必要である。高齢者に対する補聴器等の補助器具の購入に対

する助成について、新しい制度として提案できるように前向きに検討したい。さらに職員の手話奉仕員養成講座の公費負担も検討したい。



議会報告会・意見交換会に派遣された手話通訳者

# 一般質問



松村 潤  
議員

## 防災・減災対策について

**問** 避難所では、不特定多数の人が一時的に共同生活を送る。女性への配慮の取り組みは。

**答** 総務課長 男女共同参画の観点から男女双方の視点で配慮するために、避難所運営委員会に女性の参画を図っている。女性の能力、意見を生かせる場を確保することで安全で安心な避難所生活を目指している。

**問** 過去の災害時の調査によると、必要なものの上位には、水や食料よりもトイレを挙げる声が多かったとの結果が報告されている。1月に起きた能登半島地震でも、特にトイレが問題になっている。水や食料

はある程度我慢できても、排せつは我慢できない。トイレを我慢することは健康障害につながるケースが少なくない。町のトイレに対する備えは。

**答** 総務課長 現在、携帯トイレは45箱4500回分の備蓄がある。3月中にさらに45箱追加して9000回分の備蓄をした。またユニットハウス業者と協定を結び、コンテナ式トイレの提供の体制を整えている。

**問** 仮設トイレが避難所に行き渡るまでに4日以上かかった自治体が66%という調査結果も出ている。仮設トイレが避難所にすぐ設置できるとは限らない。

また足腰の弱い高齢者や障がいがある人にとっては使用が大変困難である。マンホールトイレは排泄物を直接下水道に流すことができ

るため、負担も少なく、衛生的であり、高齢者や障がいがある人でも利用しやすい洋式である。マンホールトイレの設置について町の考えは。

**答** 都市計画課長 マンホールトイレは、くみ取りが不要である点が最大のメリットである。このマンホールトイレの地下部の整備が国の補助金の交付対象の基本となる。マンホール整備運用ガイドラインを参考に、補助採択を視野に入れ、設置場所などを調査し、関係部署と協議する。

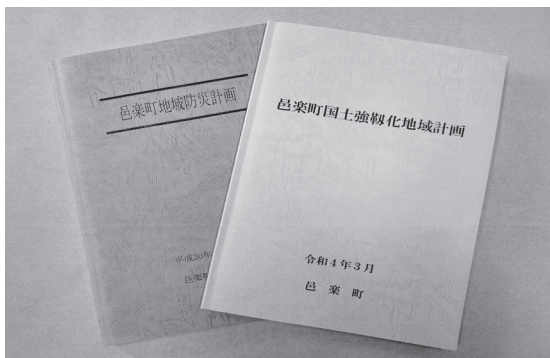
**問** トイレの確保は、複数のタイプを確保することが望ましい。もう一つは、トイレトレーラーである。能登の被災地で「臭くない」「きれい」「明るい」と喜ばれているのが移動型のトイレトレーラーである。大

泉町では、震災にトイレが必要なことを想定して、個人及び法人からの寄付などによって、災害用トイレトレーラーを導入した。このトイレトレーラーがあれば避難者が水分摂取やトイレ使用を我慢することによる健康障害の予防や衛生環境の向上にもつながると考えるが。

### 今後十二分に検討する

**答** 町長 クラウドファンディングや寄付が集まりにくい状況もあり、年間の維持管理費も数十万円かかるので導入には慎重にならざるを得ない。先進的に導入している自治体の状況

を踏まえて、今後十二分に検討する。



邑楽町地域防災計画



小久保 隆光  
議員

## 内水氾濫に対する 町の危機管理対策は

災害対策本部を  
立ち上げる

その他の一般質問

・ 人生百年時代を迎えるにあたり

・ 高齢者や子育て世帯、事業者の支援について

・ 子どもや教師の心のケアについて

**問** 町長に内水氾濫について伺う。町の危機管理の考え方、方策について伺う。

**答 町長** 町では、北を渡良瀬川、南を利根川と挟む大河川、1級河川に挟まれていて、1級河川以外にも県が管理している中小河川があり、役場の南にも孫兵衛川が流れている。大雨が降った場合や台風、あるいは線状降水帯による集中豪雨があった場合には、河川からの越水による外水氾濫が想定される。外水氾濫以外にも、雨水の排水能力を上回る大雨が降った場合には、河川の水位上昇によって下水道、あるいは町が管理している水路などでは雨水が排除できず、たま

ってしまいう内水氾濫が起る危険性が極めて高い。邑楽町はそういう地域だと思っている。現在、町のハザードマップが示しているものは千年に1度の大雨が降った場合に、最大の浸水する深さを表したものである。このハザードマップを各世帯に配布して、避難等の呼びかけをしている。このように、現在のハザードマップでは内水氾濫は考慮はされていない状況である。令和6年度の当初予算においては、簡易的ではあるが、この内水氾濫がどのぐらい起こる危険性があるのかをシミュレーションして、その結果を新たにハザードマップ等に盛り込んで公表していく考えを持っている。

こういった災害については、行政としては国や県、関係する流域の市町村と協力や連携を取り、調整池や排水機場、河川の整備等のハード面の整備を行うが、それだけで必ずしも被害が防げるわけではない。住民、それから各自治会の自主防災組織といったところにも「自助」「共助」の取り組みを進めていただき、ハード面とソフト面の両面に対応していく必要がある。

**問** 能登半島では寒い時期に地震が発生し大変な犠牲者が出た。このような状況下の初動について町長に伺う。

**答 町長** 仮に震度5以上の地震が起こった場合には、町では災害対策本部を立ち上げるような初動マニュアルができています。町長をトップとして、関係所管課長、関係課が招集される。その地震の大きさによって招集する範囲も異なるが、まずは本部を立ち上げて、現状の把握、各公共施設やインフラ、道路、河川、橋梁等の巡視をする。そういったところが一番最初の対応になる。



避難行動に役立つハザードマップ

# 一般質問



原 義裕  
議員

## 多々良沼公園の見直しと 活性化について

**問** この公園は、いつ整備されたのか。また、どのくらい来園しているのか聞きたい。

**答** **建設環境課長** 住民の憩いの場の確保と、自然保護を目的とし、昭和53年に整備された町で唯一の総合公園である。令和2年には約7万人、令和3年には約7万4千人、令和4年には約5万人が来園している。

**問** 公園維持管理に、多大な費用と労力がかかっていると思うが、林の中の管理が乏しいのではないかとと思う。

**答** **町長** 多々良沼公園は供用を開始してから40年以上経っている。施設が

老朽化したり、最近では桜がクビアカツヤカミキリの被害で枯死している。令和6年度の予算において、柵や安全措置が必要な箇所については修繕する予算を持ち、来場される人に愛される公園を目指していく。

**問** これからの公園は、心身共に癒やされるところを作っていくべきと思う。芝生だけでなく、1月から2月にかけてロウバイの花を咲かせ、3月には桃の花を咲かせ、4月には桜の花、5月には藤の花を楽しみ、そして、浮島弁財天の例大祭と鶉古城まつりを開催し、6月には梅の実ができ、町民に収穫を楽しんでもらうようにし、町一番の観光地

として発展させるべきではないか。

**答** **町長** 多々良沼公園は、周囲を周回する散歩の場としても使っていたい。昨年5月町制施行55周年に併せて、初めて鶉古城まつりを開催し、4千人以上の来場があった。自然公園としてだけではなく、観光の魅力、他の活用方法があると見いだした。

**問** この公園の来場客は、年間5万人から6万人くらいおり、その内訳は町民を含め県内で約70%、栃木県で15%、埼玉県で10%である。健康のために散歩する人も多く、60代以上の年配者が6割くらいいる。「この公園ほど自然があり、

白鳥が飛来し、癒やされるところはない」と評価されているが、公園内の藤棚や噴水の周辺、竹林など管理が行き届いてない場所が見受けられる。整備が必要ではないか。

**答** **建設環境課長** 植栽管理は、毎年度入札により委託契約を結び、適正な管理に努めている。竹林については今後も適正に管理していく。

**問** コロナ禍であっても、公園周辺に滞在する人が多い。中央公園のように公園内に管理棟をつくり、公園管理やごみ等の収集を委託したらどうか。

### 適切な時期を見て 議論を深める

**答** **町長** 町内全体の公園管理は、役場の裏の多目的広場にある管理棟を集中管理の拠点としている。地元の鶉新田でも浮島弁財天があり、地区としても活

用の要望がある。今後の多々良沼公園のあり方については、財政のバランス等や適切な時期を見て議論を深めていく。



藤棚が美しい浮島弁財天



松島 茂喜  
議員

## 児童生徒の不登校について

**問** 不登校に対する教育長の見解を伺う。

**答 教育長** 学校に行きたくない、学校は自分の居場所ではないと考える児童生徒が増えている。その手立てについては、非常に危惧している。

ースも見受けられるようだ。

ルは3名の利用があった。

**問** 令和4年度に学校、教育委員会、教育相談事業に寄せられた相談件数515件のうち、不登校に関するものは何件か。

**答 学校教育課長** 426件であり、割合は約83%である。

**問** それは、看過できない状況である。また、教育相談事業による訪問相談が、平成30年度の1件に対して、令和4年度では48件に増加している。ふれあい教室やフリースクール等の利用状況はどうか。

**問** 町内の中学校では、令和2年度から急増し、令和4年度では37名であった。また、小学校では8名であり、合計45名となっている。その要因は何か。

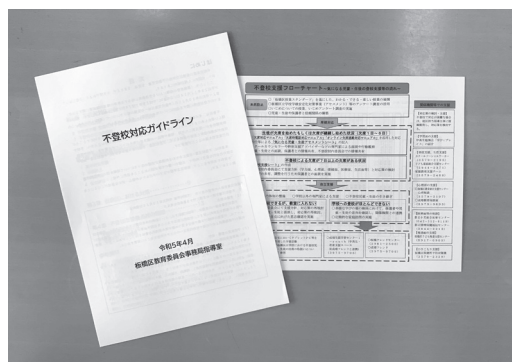
**答 教育長** コロナ禍において、不登校者数の増加が目立っている。ゲームや動画視聴により、生活のリズムが崩れ、朝起きることが難しくなり、体への負担から心の不安定を招くケースも見受けられる。

**問** 教育委員会では、そのデータを基にどんな対策を打つべきか議論しているのか。

**答 教育長** 学校では、相談室登校や養護・保健室登校、学習室を設けて学習ができる環境をつくっている。

**問** 「なかなか良い方法がない」これで片付けてしまつては、一歩も前へ進まない。教育委員会が中心となり、真剣に議論し、対策を立てていただきたい。子どもは町の宝である。これは提案になるが、保護者や教職員向けに不登校対応ガイドラインを作成していただきたいと思うが、教育

長  
の  
考  
え  
は。  
**答 教育長** 検討したい。



策定が期待される不登校対応ガイドライン

# 一般質問



武井 清二  
議員

## 行政経営としての 人件費と委託費の削減を

**問** 令和元年度から令和6年度

の一般会計の人員費と委託費の推移を調べたいが、年々増加している。こういった内部経費が増加傾向にあるということは、町の収入が増え続けなければ財政が圧迫されて利益が減少し、行政経営的にはあまり良くない。これらは近年の物価高や業務の多様化など主に外部的要因によるものであるという担当課長の説明であるが、町長はこの現状をどう捉えているのか。

**答** 町長 インフレ基調の現在では、人件費や委託費の増加は当然であると考えている。この歳出が増加すると併せて、事業を実施する際には、いわゆる特定財源、国からの補助、

交付金、あるいは借入金による起債を起こしながら、効率的な財政運営をするよう心掛けていく。健全な財政状態を維持できている以上、人件費や委託費を極端に削減することは現実的に不可能である。

**問** 健全な行政運営ができていくというところだが、

昨今の半導体需要など大きく恩恵を受けている面もある。内部的な経費同様に町の収入も外部的要因で左右されるリスクがある。そういった意味で、やはり増え続けている固定費の見直しは必要であるし、可能である。すべての事業内容の再精査、業務内容や作業内容の細かいレベルでの改善の

模索、そして職員の意識改革、それに伴う新しい組織の編成、縦だけでなく横のつながりの強化などにより、いくらかでも内部調整の余地はあると考える。さらに、町でも少しずつ力を入れていくデジタル化やAIの活用に加え、特に進化が著しいChatGPTに代表される生成AIの導入など、これらへの投資が職員の業務効率化に大きく寄与し、委託費の削減にも非常に有効に作用すると思われる。町長の見解は。

**答** 町長 デジタル化やAIの技術は日進月歩で飛躍的な進歩を遂げており、

最も効率的なところを探していく

それを有効活用している先進的な自治体の事例も承知している。財源との兼ね合いを見ながら最も効率的なところを探していく必要がある。

**問** 最後に、中央公民館の建設当時の目的は、経費削減を視野に全公民館を集約する方向であったと思う。現状では、まだ3館体制のままであり、それぞれの経費は分散され、逆に増え続けている状況だが、今後の方向性と対策は。

**答** 生涯学習課長 そのような集約の方向性ではあったが、中央公民館の面積を考えると、現在の各公民館を利用する団体の数を吸収しきれずそのまま継続している。これに対し、令和2年度から長柄公民館と高島公民館の2館は事業連携や一元化も進めており、予算項目などについても効果的な運営ができるよう調整をしている。



人件費と委託費の削減に向けて

- ※AI (Artificial Intelligence)
- …人工知能を持つコンピューターシステムやソフトウェア
- ※ChatGPT (Chat Generative Pre-trained Transformer)
- …人工知能チャットボット
- ※生成AI
- …文字などの入力に対してテキスト、画像、または他のメディアを応答として生成する人工知能システムの一つ



山本 裕子  
議員

## 手話言語条例の 制定について

**問** 過去に、手話言語条例制定の要望はあったか。

**答** 福祉介護課長 関係者から要望は受けている。

**問** その際の対応は。

**答** 福祉介護課長 関係団体と意見交換を行い、条例制定に向けて協議したいと伝えた。令和6年度の早期に議会に上程できるように進めたい。

**問** 取り組みの進捗状況は。

**答** 福祉介護課長 意見交換会の開催に向け、関係各所と連絡を取り、早急に開催できるように調整している。

**問** 9月23日は手話言語の国際デーであり、シンボルタワーがブルーライトアップされていたが、町として周知したか。

**答** 福祉介護課長 町民に対して周知できなかった。今後は広報紙やホームページを活用して周知していく。

**問** 条例制定は目的であり、ゴールではない。多くの人に手話を知ってもらい、聾者と聴者がコミュニケーションを図る場が増えるように取り組んでほしい。また、子どものうちから手話に触れることが重要だと考

える。学校教育で手話の授業はあったか。

**答** 学校教育課長 今年度は、小学校1校でブラインドウォーク、車椅子体験、聾者の講演会、手話教室を実施した。

**問** 福祉やさまざまな障がいについて知ることとはとても大事なことである。世界が広がり、将来の選択肢も増える。今後、教育の中で手話を積極的に取り入れることは可能か。

**答** 教育長 福祉教育は広範囲だが、子どもたちが興味を持ったものは取り入れる可能性がある。

**問** 幼稚園・保育園の発表会でも手話ダンスをすると聞いている。小中学校に限らず、幼児期から手話

を習うことで、聾者と会話するきっかけにもなる。東京都や神奈川県には聾者が営む飲食店があり、板倉町には手話で接客する店もある。こういう店が町にあれば気軽に足を運び、手話を覚えることができる。そこに雇用も生まれる。手話の盛んな町にすることで国内外や他の自治体からも関心を持つてもらえる。町の将来像として「やさしさと活気の調和した 夢あふれるまち おうら」とあるが、誰もが笑顔で暮らせること、それこそが調和だと思う。町内のあちらこちらで手話が飛び交うような町にして

いくために条例の制定や取り組み、今後の発展について町長の考えを伺う。

### 制定しない理由がない

**答** 町長 条例の制定についてはしらない理由がない。町民に対しては、学校教育でも積極的に学ぶ機会の提供、職員研修、町の各行事での手話通訳の拡充、さまざまなることを具体化していく必要がある。障がいがある人たち、支援している人たちと意見を重ね、町として先進的に取り組まなければならないと考える。



手話であらう





## 休憩室 The Lounge

### みなさん一緒に歌いましょう



廣瀬 かをる  
(鶉新田・14区)

小学生の頃、音楽の授業でちょっとしたことを褒められ音楽を好きになりました。鼓笛、吹奏楽、女声合唱、混声合唱を経験し、コーラスは高校生の時から現在まで続けています。

全日本年金者組合館林邑楽支部に入り、コロナ禍で休止していた「うたごえ」は、再開を望む声が多く、毎週第1土曜日には、有志が集まり、懐かしい歌を元氣よく歌っています。青春の一ページの歌、団結のための労働歌など知らない歌も出てきますが、アコーデオンの先輩方のリードでなんとか歌える曲もあります。知っている曲は元氣よく、苦手でも大丈夫、上手い下手は関係ありません。姿勢良く腹式呼吸をして歌うと、ストレッチもなくなり健康になります。おしゃべり、リクエラスト曲もOKなので、楽しく元氣に参加しています。仲間を募集していますので、歌がお好きな皆さん、一緒に歌いましょう。

### 議会のうごき

#### 2月

- 6日 全員協議会
- 7日 群馬東部水道企業団議会
- 20日 議会運営委員会  
群馬県町村議会議長会定期総会  
企業情報交換会
- 21日 総務教育常任委員会  
産業福祉常任委員会
- 22日 全員協議会

#### 3月

- 5日～15日  
第1回定例会  
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会、  
全員協議会、議会広報委員会)
- 13日 中学校卒業式
- 21日 幼稚園修了式
- 22日 小学校卒業式  
大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 23日 こども園・保育園卒園式
- 25日 邑楽館林医療企業団議会
- 26日 太田市外三町広域清掃組合議会
- 27日 館林地区消防組合議会  
邑楽郡町村議会議長会定期総会

#### 4月

- 2日 議会広報委員会編集会議
- 8日 小・中学校入学式
- 11日 議会広報委員会校正会議
- 19日 議会運営委員会  
全員協議会

## 議会を傍聴しましょう

次回の定例会は**6月10日**から**14日**を予定しています

(開会は原則、午前10時 一般質問は11日、12日を予定)

住所・名前・年齢を受付票に書くだけでどなたでも傍聴できます。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、中央公民館、長柄公民館、高島公民館に置いてあります。また、ホームページでも会議録全文や本会議の様子を動画配信により見ることができますので、ご覧ください。

邑楽町議会

検索

詳しくは、議会事務局まで ☎47-5000

# 福島県伊達郡川俣町

**私**

の故郷は、福島県伊達郡川俣町、人口約1万1千人の小さな町です。

町の産業では、明治から昭和にかけて羽二重織が盛んであり、ブランド「川俣シルク」として、海外へも輸出されていました。絹織物は町に潤いをもたらしましたが、化学繊維の台頭により好景気は長続きせず、繊維産業の衰退とともに町も活気を失いました。その後、新たな産業は生まれ

ず、過疎化が進みました。

私の母校は小、中学校が統合校舎であったため、運動会、文化祭も合同でした。昭和44年に中学校が廃校になり、次いで令和4年3月には10名の卒業生を送り出し147年の歴史で小学校は廃校になりました。そんな過疎の小さな町でも自慢できるものがあります。川俣秋山地区にある推定樹齢500年以上の駒ザクラです。正式にはエドヒガンザクラで根周り5メートル以上の巨木です。平成22年に帰省した際に、甥と



佐藤 八郎  
(谷中蛭沼・11区)

見に行きました。桜の花に雪が降り積もった情景に感動していると地元の新聞記者に「記事にするので桜を指さしてください」と言われました。甥と一緒にカメラの前に立つと「桜を撮るので背を向けてください」と言われ、苦笑いした思い出があります。



秋山の駒ザクラ

## 編集後記

令和6年の幕開けは、私たちに大きな衝撃と悲しみを残しました。自然災害とはいえ、あまりにも甚大な被害と苦難、そして苦痛をもたらしました。3月11日、東日本大震災から13年が経過しました。このたびの能登半島地震は、東日本大震災と同クラスと言われていますが、この一連の大災害は私たちに何を伝えようとしているのでしょうか。避けられない災害は、これからも繰り返されることではないでしょうか。私たちは、そのためにも住民同士のつながりをいっそう深めて助け合い、次の世代につなげていきたいと思えます。

過去の歴史を振り返れば、人々は災害と共に生き抜いてきました。「備えあれば憂いなし」ということわざのように、いつの時代も災害と向き合い、身を守る術を身につけねばと思えます。

私たち議員は町民の皆さまが、安全安心に暮らせるように尽力してまいります。

(蟹和記)